

# 集会決議

今年1月1日、M7.6、最大震度7の能登半島地震が起こり、深刻な被害がもたらされました。

この地震で、運転停止中の北陸電力志賀原発にも基準地震動を超える揺れが襲い、外部電源を受電する変圧器が重大な損傷を受けました。使用済み燃料プールの冷却も危機に陥りかねません。北陸電力は情報を隠蔽、小出しにし、被害の全容は不明です。想定されていた以上の150kmの海底断層が連動し、また陸域の断層も含め広範囲に連動したことで、これまでの断層評価と基準地震動の見直しが不可避です。また、大規模の家屋倒壊・火災や道路寸断で集落が孤立して救助も避難もできず、モニタリングポストが使えなくなるなど原発重大事故時の避難計画は絵に描いた餅であることが証明されました。今回の地震は、地震列島の上に建つ原子力施設の危険性を改めて示し、チェルノブイリ、フクシマを繰り返させないためにも稼働中の原発はすぐに止めるべきです。

明日の3月11日、福島第一原発重大事故から13年を迎えるも事故は終わっていません。廃炉の目途も立たず、放射能汚染は続き原子力緊急事態宣言は今も継続中です。今なお避難者は2万6609人(2023.11.1 福島県 Hp)に上り、放射能汚染が続く中で、故郷に帰りたくても帰れません。事故前の暮らし、コミュニティは元には戻らず、被害者の生活は困難の連続で、まだまだ再建途上にあります。

しかし政府はフクシマ事故など終わったかのように、避難指示地域等の医療・介護保険料の減免措置等医療支援の打ち切りを強引に進め、また、漁業者をはじめ多くの関係者の反対を無視して放射能汚染水(ALPS処理水)の海洋投棄を強行しました。そして、フクシマ事故の教訓をないがしろにし、エネルギーの安定供給や脱炭素を口実に原発推進に舵を切りました。「原子力基本法」や「原子炉等規制法」等を改悪し、原発利用を「国の責務」として強力に推進しています。

原発は被ばく労働が不可避であり、重大事故を引き起こす存在です。その上、次世代に負の遺産=処理・処分ができず、行き場のない使用済核燃料を押し付けるだけであり、こうした原発推進を私たちは決して許すことなく、脱原発、再生可能エネルギーへの転換を目指します。

以下決議します。

- 能登半島地震を踏まえ、すべての原発をすぐに止めよ！ 全ての原発の断層評価と耐震設計審査指針を抜本的に見直せ！
- 原発再稼働反対！ 高浜1・2号、美浜3号など、運転開始から40年を超えた老朽原発を廃炉に！ 高浜3・4号などの40年超運転反対！
- 使用済核燃料をこれ以上生み出すな！ 過密貯蔵を止めよ！
- 関電は上関町への使用済核燃料中間貯蔵を断念せよ！ 乾式貯蔵を原発推進に利用するな！
- 福島第一原発の放射能汚染水の海洋投棄を中止せよ！
- 原発を推進してフクシマ事故を招いた国の責任を認め、謝罪し、賠償を行え！
- 被災者の医療支援切り捨てを止め、医療保障を行い、国の責任で「健康手帳」を交付せよ！
- 甲状腺検査・治療を国の責任で福島県外の被害者にも拡大し、実態・原因を解明せよ！
- プルトニウム利用政策を中止せよ！ プルサーマルを止めろ！
- 六ヶ所再処理工場を閉鎖せよ！ 新高速炉計画を断念せよ！
- 政府は原発推進教育を止めよ！
- 政府は、2030年までに再生可能エネルギーを3倍化、省エネルギー2倍化の国際公約を守れ！
- 原発・核燃料サイクル政策から脱原発・再エネ推進政策へ抜本的に転換せよ！

